

ご質問等への回答

1 ワークショップの進め方について

- このワークショップは、利用率が極端に低い施設は見直して廃止するべきだという方向で話をしていけばいいのか。費用対効果を考えてなくした方が良いという意見を行政は求めているように思う。
- このワークショップは、今ある施設を縮小することを目的としているのか、稼働率を高めるためのアイデアを出すことを目的としているのかが見えない。
- みなさんが利用されているという意味で稼働率に注目するのと、築年数を考慮するのと、二つの視点で統廃合の検討をしていきたいと思う。

【回答】

このワークショップは、「富山市公共施設マネジメントアクションプラン」に基づき、まちづくりと連動して、施設のあり方について検討を行うものです。

人口減少が進み、限られた財源の中で、公共施設を適切に維持管理していくことが求められていることから、公共施設等の統廃合や長寿命化などを計画的に行い、財政負担を軽減していくことが必要です。

しかし、行政側が財政負担の軽減を目的とした計画を作成すると、必ずしも地域の実情にそぐわなかったり、本来必要であった機能まで廃止・縮小してしまったりする可能性があります。

そのため、このワークショップは、地域性等を考慮し、地域にとって本当に必要な機能や施設に議論していただく場と考えており、ここでいただいた意見をもとに、地域別実行計画を策定することとしています。

- 施設数が多いので、用途ごとにひとつひとつ話をすると時間がかかる。時間は限られているのだから、効率的に進められる様に、市側で検討する施設を整理して示した方が良いのではないか。
- 効率的に施設を絞って議論をするために、築年数を一つの指標にしてはどうか。八尾の施設は市全体とは傾向が異なり、比較的新しいものが多いのであれば、昭和に建てられて、老朽化が進み、耐震性にも問題が出ている施設を対象に話し合ったら良いと思う。
- 利用者数が少なく、稼働率が低くても、まちにとって大事だったり、住民の思い入れの深い施設はある。そういう施設と、コスト削減を目的に稼働率や維持コストなどを重視して、シビアに削って良い施設とを分類した上で議論してはどうか。
- みなさん、率直に意見を交換されていて良かったのではないか。グループ討論の時間が短すぎるので、もう少し時間を増やしてほしい。(ふりかえりシートより)
- 時間が足りないと感じた。(ふりかえりシートより)

【回答】

第1回ワークショップでは、ワークショップの趣旨や公共施設を取り巻く背景、進め方や前提となる条件などをご理解いただいたうえで、ご議論をしていただく必要があったため、説明に時間を要しましたが、今後は、できる限り皆様方のご議論の時間を長くとってまいります。

また、対象施設については、市が考える課題のみで抽出してしまうと、地域の皆様が、課題があると感じている施設が抜けてしまう可能性があるため、幅広い施設を対象にしているところではありますが、今後は、まちづくりや公共施設の課題及び皆様の議論の進捗も踏まえて、「地域で優先して取り組むべき個別具体施設」を絞り込み、より具体的な議論をしていただきます。

- 施設ごとの機能説明が必要だ。(ふりかえりシートより)
- 対象建物が多く、ひとつひとつの確認が必要では。(ふりかえりシートより)

【回答】

ワークショップの対象施設については、第1回ワークショップの参考資料「施設概要」に施設ごとに、基本情報と施設の概要についてまとめていますので、参考資料をご活用いただければと思います。

- 全員で（無記名）いる施設、いない施設を提出したらどうか？（〇×）
(ふりかえりシートより)

【回答】

全4回にわたり参加者の皆様にご議論をいただき、その結果を踏まえ、市が最終的に計画を策定することとしております。

少数であっても貴重なご意見として受け止め、検討をしていきたいと考えていますので、アンケート等の実施は予定していません。

- 八尾地域の公共施設についての詳細なデータがほしい。各施設の築年数のほか、維持・管理費がどの程度かかるのかを施設ごとに一覧でもらいたい。富山市全体の公共施設の維持・管理費平均と比較して、どの程度八尾地区は負担があるのか、自分事として考えていきたい。
- 資料の中に利用率が低い、利用が減っているという表現がある。前年の数値もなく、何を基準にしてその表現がされているのか私たちにはわからない。市の平均値以外に基準となる数値は設定されていないのか。
- 施設別の維持コストの数字があると、統合や廃止の話をする際に参考になる。

【回答】

ワークショップの対象施設については、第1回ワークショップの参考資料「施設概要」に施設ごとに、基本情報と施設の概要についてまとめています。また、今回、参考資料として、利用者数、稼働率、コスト（千円）、利用1人あたりコスト（円/人）を掲載した資料を配布しますので、ご確認ください。

【稼働率について】

稼働率は、施設の貸し出しスペースが十分に利用されているか評価する指標で、以下の式で算出しています。

$$\text{稼働率} = (\text{年間利用コマ数} / \text{利用可能コマ数}) \times 100$$

利用可能コマ数は部屋ごとの貸出単位です。例えば、ある部屋について午前・午後・夜間の3区分で貸出可能な場合は、1部屋3コマと計上します。1時間単位での貸出の場合は、9:00 から 17:00 まで貸出可能であれば、1部屋8コマと計上します。また、工事等施設側の都合で部屋が使えなかった場合は、その期間のコマ数は利用可能コマ数から除外しています。

全施設について算定した上で、用途別に比較が可能な集会施設、文化施設に

ついて掲載しています。

- 避難所に指定されている建物は、耐震性に問題はないのか。
- 八尾地域の施設でアスベストが含まれている施設はないのか。検出されている建物があるのであれば対策工事はしているのか。していないのであれば、そういう建物から整理することも考えられるのではないか。

【回答】

富山市では洪水や土砂災害等に備え、耐震性を満たしている施設を中心に避難所を指定していますが、一定数の避難所を確保するため、耐震性の確認がとれていない建物についても一部避難所に指定しています。

アスベストが含まれているかについて、全施設について調査は行っておりませんが、アスベストが使用されていることが想定される施設においては、飛散を防ぐなどの処置を行い、支障なく利用していただけるようにしています。

- 一から市民の意見を聞いていくということだが、今後の議論の方向性がわかると意見が言いやすいので、昨年度の大山や大沢野でどんな話し合いがされて、最後はどのような結論になったのかを示してもらえると良い。

【回答】

参考に、昨年度ワークショップを実施した大山地域、大沢野地域のニュースレターを各グループに用意しましたので、ご確認ください。